



くまげら 通信

住まいの

ホームドクター

生活情報

内装工事 表具(クロス)工事

近年は壁・天井とも、全て、クロス仕上げとゆう住宅も珍しくは有りませんが、クロス材料には防火性能の高い商品・防カビ加工商品・汚れ防止商品・表面強化商品等、又、機能性壁紙の他、織物壁紙(布)、一般的なビニールクロス・特殊商品など各種があります、部屋の仕様に合わせてお選び下さい。

引渡しを受けてからの、維持・管理上のご注意

1. 入居後の換気

施工時の臭いが残っている場合がありますので、入居後 1ヶ月程度十分に換気を行なって下さい。

2. 直射日光等からの保護

直射日光や熱風が長時間当たる場所では、変退色する恐れがあります。カーテンやブラインドなどで日除けを心がけ、熱風が直接当たらないようにする。

3. 粘着テープを貼らない

粘着テープ(セロハンテープやガムテープなど)を壁紙に付着させないで下さい。変退色や破損を招く原因となります。

4. 汚れが付着したら

ほこりや汚れが付着した場合は、きれいな水を含ませた布で軽く拭き取って下さい。(中性洗剤を使用すると、より効果的です)。シンナーやベンジン、アルコールなどの有機溶剤は使用しないで下さい、変退色の恐れがあります。

5. 湿気を避ける

結露の発生や湿気はカビの原因となりますので、室内の換気や湿度調整を心がけて下さい。

6. はがれが生じた場合

施工後、経時変化によって、部分的なはがれが生じる場合があります。少量の場合文具糊か木工用の水性接着材を壁紙の裏面に塗り付け十分圧着させ補修して下さい。その場合表面にはみ出してきた糊は、ぬるま湯を含ませたスポンジか布切れで拭き取って下さい。

7. タバコの煙等について

タバコの煙やキッチンからの油煙は、壁紙を短期間で黄変させてしまいます。できるだけ室内の換気を心がけて下さい。

8. 家具を壁に密着させる場合

家具の塗料に含まれる色素がビニル壁紙と反応し、壁紙の表面が変色することがあります。特に油性ペイント塗料は完全に乾いていることを確認し換気に注意して下さい。